

環境教育・取組みに関するアンケートまとめ

I. 調査概要

■ 調査の目的

とやま環境チャレンジ10に参加した小学校では、とやま環境チャレンジ10以外に、環境教育・取組みを行っている事例が多くあります。

本調査は、令和7年度の参加校にどのような環境教育・取組みを行ったのかお聞きし、次年度以降の参加校へ事例を情報提供することで、今後の小学校での環境教育の参考としてもらうことを目的としています。

■ 調査対象

令和7年度とやま環境チャレンジ10に参加した小学校 73校

※毎年行っている学校向けアンケートの質問として実施

■ 調査方法

専用フォーム（Google フォーム）による回答方式

■ 調査期間

令和7年12月15日から令和7年3月13日を返信期限として回収

■ 回収状況

回答 73校 回答率 100%

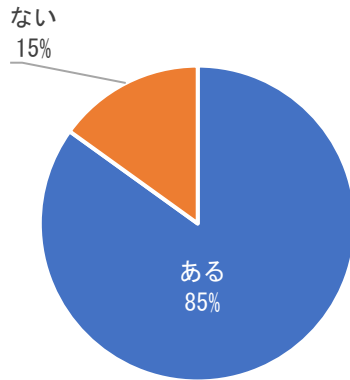
■ 調査項目

- (1) 1学期のとやま環境チャレンジ10の授業後、とやま環境チャレンジ10の授業以外で、4年生が行った環境教育・取組みはありますか。
- (2) どのような環境教育・取組みを行いましたか。
- (3) (2)の環境教育・取組みを行うことになったきっかけは何ですか。
- (4) (3)で「学校の授業計画に含まれていたから」とお答えいただいた方にお聞きします。

行った環境教育・取組みは、とやま環境チャレンジ10の実施年でない場合でも学校の授業計画に含まれていますか。

II.調査結果

- (1) 1学期のとやま環境チャレンジ10の授業後、とやま環境チャレンジ10の授業以外で、4年生が行った環境教育・取組みはありますか。



参加校 73 校中 62 校で環境教育・取組みを行っているという回答がありました。

- (2) どのような環境教育・取組みを行いましたか。
- ・「地球温暖化」や「食品ロス」等のグループに分かれ、グーグルアプリ「スライド」を使用して調べたことをまとめ学習参観で発表した。
 - ・社会科の学習において、ごみ処理や節電・節水の課題、プラスチックについて扱っています。
 - ・とやま環境チャレンジ10後も総合的な学習の時間で地球温暖化に対する対策を調べて、発表した。
 - ・総合的な学習で、ごみ問題などを含めた身の回りの環境について各自課題を設定して取り組んだ。
 - ・総合的な学習の時間や社会科で身近な環境問題を調べ、処理等に関わる施設を見学したり、環境保全のために自分たちができることを考えたりした。
 - ・SDGsについて調べ、スライドにまとめて学級で発表し合い、全校集会でもそのうちのいくつかを発表した。
 - ・各自で環境問題について調べた。夏休みの取り組み後にも学校や家庭で活動を続けた。
 - ・海の環境保全について外部講師を招いた。
 - ・北陸電力の出前授業。
 - ・海岸で漂着物を拾い、どんな漂着物があるかを調査した。
 - ・地域の川の調査、用水の調査。
 - ・学校周辺の水辺の生き物調査。
 - ・ポスター、新聞づくり、スライドでの発表。

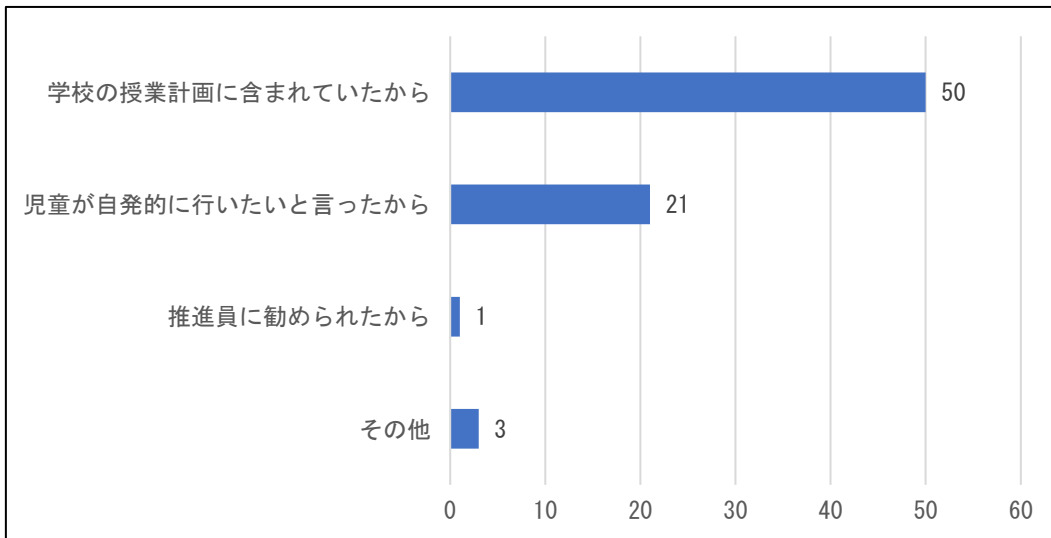
- ・動画作成。
- ・2学期(11月)の学習参観で、環境についての調べ学習や活動の成果の発表を保護者にした。
- ・新聞を作成し、見合いながら気付いたことを伝えあった。
- ・環境問題について調べたことや取組を下級生に発表した。
- ・全校のみんなに総合でSDGsの取り組みの呼びかけをした。
- ・10月の学習の成果発表会で、総合的な学習の時間で調べたことや推進員の方に教えていただいたこと、とやま環境チャレンジ10で行った取組み等についての発表を行った。
- ・ポスターを書いたり、ベランダに植物を置いたり、残食ゼロを呼びかけたりした。
- ・校内放送で節電や残食を減らすことを呼びかけ、ポスター作成及び掲示、温水便座を閉めることを呼びかけ及び点検、ペットボトルキャップの回収。
- ・4年生集会を開き、地球温暖化について全校に伝えた。また、エコ活動強調週間を行い、全校でエコ活動に取り組んだ。
- ・学校の環境問題を調べ、電気、水、ごみについて自分たちでできそうな節約等の活動を全校に呼びかけ、その取り組んだ活動について学年で発表した。
- ・地球温暖化防止のための取組みを全校に広めた(食べ残し0作戦、ミニチャレンジ10、環境の歌作り、環境クイズの実施、ヘチマのカーテンの栽培&ヘチマのたわし作り等)
- ・全校に呼びかけて、フードドライブ活動を行った。
- ・総合的な学習の時間にごみ、食品ロス、電気、水等のグループに分かれ、全校児童にとやま環境チャレンジ10で行った取組みを広める活動、全校児童にアルミ缶回収を呼びかける取組み、再利用できる容器等の回収活動。
- ・敷地内のごみ拾い。
- ・給食の残食チェック。
- ・隣接する公園のごみ拾い、公園のポスター設置、校内のポスター設置、校内へ環境美化の問いかけ。

学習発表会や学習参観で発表した小学校が多くありました。

また、啓発ポスターや動画、絵本などを作成し、学校や地域に呼びかける小学校も多くありました。

さらには、企業等の出前講座などを活用したり、フードドライブを行ったり、地域の清掃活動に参加した小学校もありました。

(3) (2)の環境教育・取組みを行うことになったきっかけは何ですか(複数選択可)。



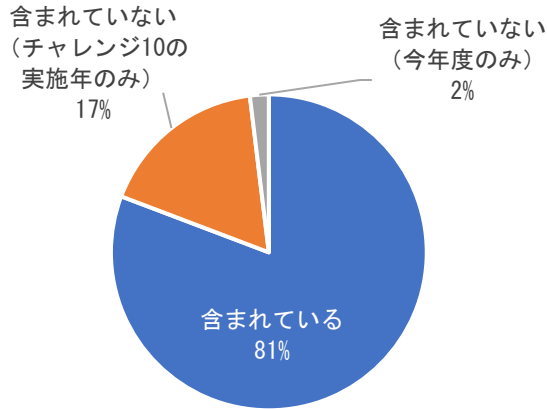
その他の内容

- ・今年度は、とやま環境チャレンジ 10 に参加できるということで、その機会を生かし、環境教育につなげようと計画したから。
- ・お誘いがあったから。
- ・地球で起こっていることを自分の生活につなげてさらに考えさせたかったから。

「学校の授業計画に含まれていたから」が最も多い回答でしたが、「児童が自発的に行いたいと言ったから」の回答も多く、環境問題に関心を持った児童が多くいたことが伺えます。

(4) (3)で「学校の授業計画に含まれていたから」とお答えいただいた方にお聞きします。

行った環境教育・取組みは、とやま環境チャレンジ10の実施年でない場合でも学校の授業計画に含まれていますか。



多くの学校では、環境教育・取組みが授業計画に位置付けられていました。また、授業計画に含まれていない学校においても、「とやま環境チャレンジ10」の実施年にあわせて環境教育・取組みを行っている小学校が多いことが分かりました。

このことから、「とやま環境チャレンジ10」をきっかけとして、環境教育に取り組んでいる様子が伺えます。